



©2005 石塚真一/小学館

第 176 号(令和2年1月30日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

1月第3週は阿弥陀岳でアイスクライミング中の転落事故が発生しました。冬季のハケ岳は一般的な冬山縦走登山から、ロープを用いたバリエーションクライミング、アイスクライミングのエリアとして人気の山域ですが、毎年クライミング中の転滑落遭難が後を絶ちません。

原因としては、クライミング中のバランス崩し、システムや支点の点検・確認不足によるトラブル、クライマーと確保者相互のコミュニケーション不足によるトラブルなどが見受けられます。

現地で登り始める前に確実に安全確認をするとともに装備やシステム、手順についてパートナーとチェックし合う習慣を身につけましょう。

先週までの発生

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
1月25日	ハケ岳連峰 阿弥陀岳 広河原沢	46	男	転落	負傷	仲間とでアイスクライミング中、 転落、負傷
ハケ岳連峰阿弥陀岳で、男性 46 歳がアイスクライミング中に転落し、負傷する山岳遭難が発生し、 県警へリで救助しました。						
1月26日	北アルプス 常念岳	23	男	道迷い	無事救出	単独で登山中、道に迷い、行動 不能
北アルプス前常念岳において、男性 23 歳が道に迷い行動不能となる山岳遭難が発生し、富山県 警へリで救助しました。						

令和2年中の山岳遭難発生状況(令和2年1月1日～1月26日)

区分	発生 件数	死者	行方 不明	負傷者	無事 救出	遭難者 計	内) 死傷者
令和2年	3	0	0	1	2	3	1
平成 31(令和元)年	8	1	0	1	11	13	2
前年同期比	-5	-1	±0	±0	-9	-10	-1
内)BC	-2	±0	±0	±0	-6	-6	±0
内)山菜キノコ採り	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0

山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	0.0%					0
	後立山	0.0%					0
	その他	2	0.0%			2	2
	計	2	66.7%	0	0	0	2
中央アルプス		0.0%					0
南アルプス		0.0%					0
ハヶ岳連峰	1	33.3%			1		1
その他の山岳		0.0%					0
計	3		0	0	1	2	3

態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	1	33.3%			1		1
転倒		0.0%					0
病気		0.0%					0
道迷い	2	66.7%				2	2
落石		0.0%					0
雪崩		0.0%					0
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷		0.0%					0
不明・他		0.0%					0
計	3		0	0	1	2	3

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計		
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率	
19 以下					0	1 33.3%					0	0 0.0%	0	1 人 33.3%	
20 代				1	1						0				1
30 代					0						0				0
40 代			1		1	2 66.7%					0	0 0.0%	1	2 人 66.7%	
50 代				1	1						0				1
60 代					0	0 0.0%					0	0 0.0%	0	0 人 0.0%	
70 以上					0						0				0
計	0	0	1	2	3		0	0	0	0	0		3		
比率	100.0%						0.0%								

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝